

# 科学技術と現代社会

## 第10回

### 科学者による核兵器反対運動

---

田中 浩朗  
(東京電機大学)

# 科学者による核兵器反対運動

- ロバート・オッペンハイマー
  - ◆ 戦後も政府内で原子力政策に関与(1954年公職追放まで)
  - ◆ 水爆開発に反対
- ジョセフ・ロートブラット
  - ◆ 1944年、マンハッタン計画を離脱
  - ◆ 戦後、パグウォッシュ会議を推進
- 湯川秀樹
  - ◆ 日本の科学者の核兵器廃絶運動の先頭に
  - ◆ 核兵器は「絶対悪」・・・核抑止論批判

# ビデオ

- 映画「The Day After Trinity」
  - ◆ ジョン・エルス監督, 1980年
  - ◆ 戦後のオッペンハイマー

# オッペンハイマー

- 戦後も、政府内で発言権・影響力を持つ
- 核の国際管理案
  - ◆ 情報公開と国際協力(ソ連を含む)
  - ◆ 核兵器の大型化(水爆)に反対  
小型の戦術核を支持
- 「赤狩り」の標的に(1954年)
  - ◆ ソ連のスパイの嫌疑により聴聞会→公職追放  
(オッペンハイマー裁判)

# ビデオ

- テレメンタリー2005  
「原爆開発を胸に」(テレビ朝日、2005.8.30)
  - ◆ ロートブラットとパグウォッシュ会議

# ロートブラット

- 1944年末、ドイツの核開発が進んでいないことを知り、マンハッタン計画を離脱(唯一の科学者)
- 戦後は、専門を放射線医学に変更
- 科学者の平和運動「パグウォッシュ会議」を推進  
→1995年にノーベル平和賞受賞
- 核抑止論を批判

# 湯川秀樹

- 1943年文化勲章。1949年ノーベル賞
- 戦時中、京都帝大教授。荒勝研で原爆研究(F研究)  
…湯川の原爆研究への関与は不明
- 戦後「知識階級の勇氣と実行力の欠如」を反省
- アインシュタインの影響
- ビキニ水爆実験の衝撃
- 国内外の科学者の平和運動に参加
- 世界連邦運動にも参加
- 核兵器＝「絶対悪」(核抑止論を批判)

# ビデオ

- NHKスペシャル  
「ラストメッセージ 第2集  
核なき世界を 湯川秀樹」  
(NHK総合、2006.11.6)
- ◆ 湯川秀樹の核廃絶運動



# 第10回課題

- 第10回授業の簡単なまとめと感想など
  1. なぜ、核廃絶を訴える科学者の声は社会になかなか受け入れられないのだろうか？
  2. なぜ、一部の科学者は、困難な反核運動にあえて身を投じたのだろうか？ 彼らの強烈な責任意識はどこから来たのだろうか？